

## 番外編 生成 AI に質問しました。

### 質問

ALS 患者の災害対策は？

### 番外編 生成 AI に質問しました

### Copilot の回答

ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者の災害対策は、非常に重要です。災害時に人工呼吸器を使用している ALS 患者さんは、特別な注意が必要です。以下に、ALS 患者の災害対策についていくつかのポイントを共有します。

1. ライフラインへの影響: 近年の災害では、ライフラインに大きな影響を及ぼす事例が多発しています。停電、断水、ガス供給停止、通信回線不通などが問題となります。特に ALS 患者は、人工呼吸器の電源確保が必要です。新型コロナウイルス感染症の流行と自然災害の重なりによる複合災害のリスクも考慮されるべきです<sup>1</sup>。
2. 準備状況の調査結果: 東日本大震災後に宮城県で ALS 患者さんと多系統萎縮症患者さんを対象に行った調査では、災害時の対応で不安に思うこととして、電源確保の困難が 24%、介護者や人手不足が 19%でした。停電が長時間に及ぶ際の準備には医療機関や保健機関の支援が重要です<sup>1</sup>。
3. 具体的な対策:
  - 電源確保: 内部バッテリーの充電をしておくことや、UPS（無停電電源装置）を用意することが重要です。電力会社への登録で地域の停電情報を受け取ることもできます。
  - 外部バッテリーの確保: 外部バッテリーの交換を定期的に行い、保証期間が過ぎていたら交換してもらいましょう。
  - 非電源吸引機の操作練習: 災害時に不安を感じないように、日ごろから操作の練習をしておくことが大切です。
  - 地震への対策: 呼吸器を置いている台を固定し、キャスタータイプのベッドを使用している場合はロックを忘れずに行いましょう。
  - 自治体への届け出: 災害時要援護者リストの作成や災害時個別支援計画書の作成を行い、情報共有を図りましょう<sup>2</sup>。

ALS 患者とその家族が災害時に安全に避難できるよう、これらの対策を講じることが大切です。